



●会長/大澤 力

●幹事/森田雅巳

●公共イメージ向上委員長/斎藤将彦

例会日/毎週木曜日12時30分 例会所/新潟市中央区川端町6丁目53

ホテルオークラ新潟 TEL:025-224-6111

事務所/〒951-8062 新潟市中央区西堀前通6番町905番地 第二西堀ビル5階

TEL:025-222-5050 FAX:025-222-5051

創立年月日/昭和50年6月5日 RI加盟年月日/昭和50年6月25日

第2,126回

2019・10月3日

本日の例会案内(10月3日)

米山奨学生スピーチ

『私の研究生活 - 井上靖の魅力』

米山奨学生 李 鈺さん

第2124回 2019年9月19日例会報告

点 鐘

斉 唱 ロータリーソング『我等の生業』

握手タイム

ゲスト 米山奨学生 李 鈺さん

会長挨拶 大澤会長

今回はロータリー例会での卓話の歴史をご紹介します。

ロータリー創設時、第三回会合で初代会長に選出されたシルベスター・シールは、そのとき自身の職業である石炭業界の話をしたと記録に残されており、これがロータリーの卓話の始まりと伝えられています。第7回例会以降、会合が食事つきになると、ロータリーが欧米の習慣であるアフターディナースピーチ(卓話)を取り入れたのも、ごく自然な成り行きだったと考えられます。したがって情報通信技術のない当時の卓話は、ロータリー関連の話に限らず、職業や業界の話、時事問題など、会員が広い知識を得るための手段であったのです。

1910年、全米RC連合会第一回大会で、ロータリーの第二標語「最もよく奉仕する者、最も多く報いられる」で有名なアーサー・F・シエルドンが初めて語った“サーヴィス”についてのスピーチは、まさにアフターディナースピーチの形でしたから、時間的にも短く、内容も深入りしないものでした。このアフターディナー

スピーチスタイルが原型となり、現在の各クラブの例会では卓話の時間を30分と定めているのが一般的です。

合わせまして、直近のロータリー章典によりますと「クラブは会員に対し、ロータリー情報・ロータリー教育・リーダーシップ研修を提供するための例会を定期的に開くべきである」とありますので、今年度は何回かロータリー研修卓話を企画しております。来週の卓話がその皮切りとなりますので、ご理解頂ければ幸いです。

米山奨学委員会 鈴木委員長

加地正樹君から1万円、鈴木賢一君から5千円いただきました。

幹事報告 中村幹事

・本日例会終了後、スターライト個室にて理事会を開催いたします。

卓話

「そらいろ子ども食堂について」

そらいろ子ども食堂 代表 田村友樹氏

第2124回 9月19日 例会報告

	会員数	出席者数	欠席者数	出席率
9/19	39(37)名	25名	12名	67.57%
9/5	28名	10名	18名	73.68%
	メークアップを含む出席者	メークアップ後欠席者数	メークアップ後出席率	月出席率